

「教育現場のキラリ」

渡島教育局

○ 木古内町立木古内小学校のキラリ

「みんなで取り組む『ちょこ勉』」

木古内町立木古内小学校では、学校全体で放課後に「ちょこ勉」に取り組んでいます。

「ちょこ勉」とは、帰りの会終了後20分程度、その日の学習で分からなかったことを学級担任と一緒に学び直したり、チャレンジテストで間違った問題にもう一度挑戦したりするなど「ちょこっと勉強する活動」のことです。

みんなで一緒に学習に取り組むことが、学習に対する子どもたちの意欲の向上につながっています。子どもたちからは「家で勉強する20分よりも集中して、勉強できる」といった感想も聞かれ、今では、「ちょこ勉」に参加してから下校することが定着しています。

また、今年の夏季休業中の「夏のちょこ勉」では、木古内町立木古内中学校の生徒が小学生の学習を支援し、とても充実した取組となりました。



【夏のちょこ勉の様子】

○ 道立高等学校生徒のキラリ

「高校生の視点から資料作成や意見発表」

今年度、函館西、函館水産、函館工業の3校の生徒が、教育局でのインターンシップに取り組みました。4～5つの係を回りながら文書作成や調査集計など幅広い業務を体験するほか、今回は、高校生として学校教育や行政に還元できるような実習も行いました。

その例として、ある生徒は、局独自の取組「フライディアテンション（毎週金曜日に職員が輪番でメッセージを配信）」の担当者として、全職員に交通安全を呼びかけました。別な高校の生徒は、昨今の交通違反の状況を踏まえ、飲酒運転根絶に向けた啓発資料を作成しました。また、他校の生徒は、管内の事故や災害の特徴をまとめ、局職員にプレゼンを行いました。いずれも高校生の視点から問題点を的確に捉えた説得力のある内容で、学校安全推進会議などに活用できる立派なものでした。それぞれに、働く上で大切なことは何かを感じ取るとともに、地域・社会との関わりや自分の将来について考える3日間となりました。



【落ち着いて！ 電話対応】

○ 渡島リーダー養成事業のキラリ

「マチづくりに参画する人材を育成するジュニアリーダーコース」

渡島教育局では、7月26日～28日にネイパル森を会場に、ジュニアリーダーコースを実施し、管内各市町代表の中学生15名が「マチの未来を決めるのは君だ！」をテーマに、自分のマチで取り組みたい政策アイデアを考え合いました。

「高齢化を生かす」という政策を立てたグループは、高齢者を働き手とするためにどのような工夫が必要かについて模索しました。観光活性化を柱にしたグループは、効果的な宣伝方法についてアイデアを出し合う中で、宣伝の難しさに気付きました。参加した生徒たちは、このような取組を通して、学校やマチをより良くするため主体的に参画することの大切さや実際に行動する上で必要なことを学びました。

また、初めて会った仲間同士で野外炊事などの共同作業も体験することにより、コミュニケーションの大切さを改めて感じながら、互いの交流を深めていました。



【グループワークの様子】